

# 農業機械化技術の開発普及に 期待すること



有限会社アグリ山崎 代表取締役 山崎正志

# 豊饒な大地の中で



# 坂東市について

①茨城県の南西部

②首都圏50km圏内

③年平均気温  
15°C  
年間降雨量  
1,293mm

比較的温暖な地域です。

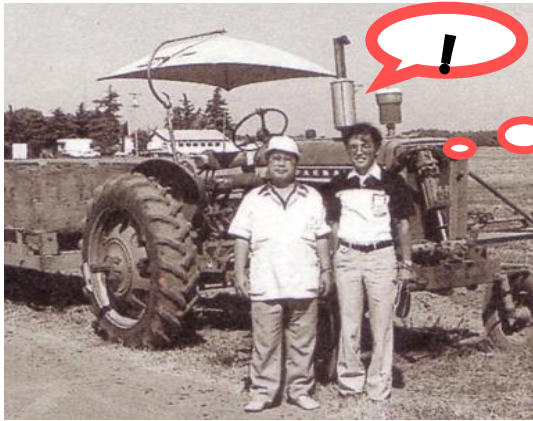
坂東市は、平成17年3月22日に  
岩井市と猿島町が合併して誕生しました。



(坂東市役所HPより)

# 私のあゆみ

昭和62年 カリフォルニア米の視察が転機に！



① **1,000ha** 規模

② **セスト機や大型コンバイン** が大活躍

③ **農業者が「生産から販売まで」**

を一貫して行っている

～ おりしも日本では、  
食糧管理法(通称:食管法)も緩和される方向にきていた…

昭和62年 化学合成農薬・化学肥料を使わない農法を開始

平成 4年 米穀小売店の許可を取得  
消費者への直接販売を開始

平成 8年 農業生産法人「**(有)アグリ山崎**」を設立

# 有機農業の取り組み

昭和44年 後継者として、就農

農薬や化学肥料に  
頼った農法に  
疑問を感じていた・・・

昭和62年 カリフォルニア米の視察

化学合成農薬・化学肥料を使わない米づくりを  
開始

平成 4年 米穀小売店の許可を取得  
～消費者へ、直接販売を開始～

平成 8年 農業生産法人「(有)アグリ山崎」を設立

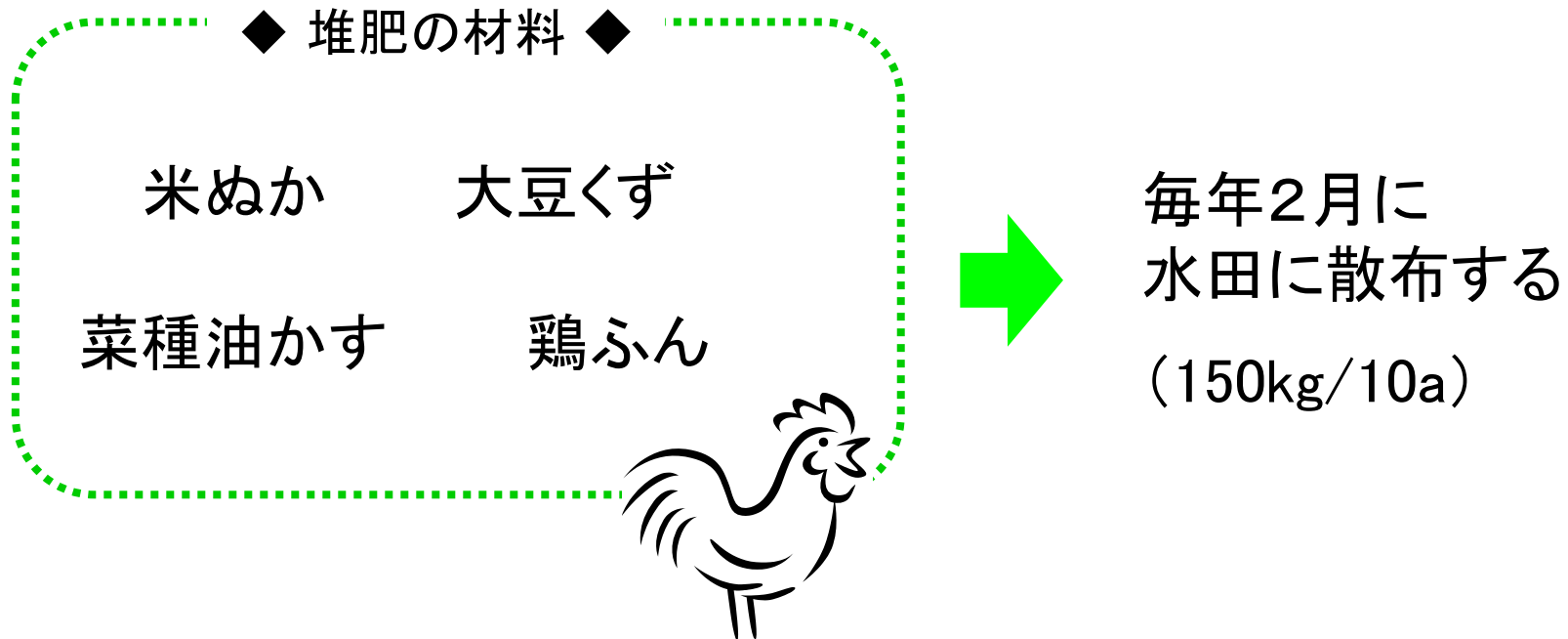
平成12年 改正JAS法に基づく有機検査認証制度で  
県内初めて認証



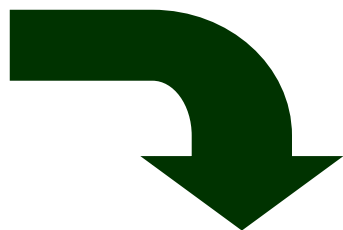


# 有機栽培における土づくり

- 1) 水田から持ち出したものは、極力水田へ返す  
(稲わら・もみ・米ぬかなど)
- 2) 地域の畜産農家と連携して、堆肥を生産する



# 有機栽培における病害虫対策



**種子消毒は温湯消毒で**

温湯60℃に  
10分間浸漬する





# 有機栽培における雑草防除



**高精度水田用除草機**



**ここがポイント！**  
**機械除草**



**株間除草ツース**  
(揺動するレーキ)

**条間除草ロータ**  
(高速回転)



代かき

田植え

活着

中干し

出穂

収穫

**①代かきは2回**

**②田植え後5～6日の  
機械除草**

**③その後2～3回機械除草**

**④その後は・・  
手取り除草！**

# 有機栽培における水管理



代かき

田植え

活着

中干し

出穂

収穫



◆ 活着後，出穂期まで **深水管理** にする



◆ 深水管理の目的 ◆

- ① 雑草を防除する
- ② 茎を太くする
- ③ 穂を大きくする
- ④ 倒伏を防止する

# 有機栽培における生き物との共生



有機栽培の水田は  
生き物が豊富





# 持続可能な農業への挑戦

食味重視の米づくり「**収量目標510kg/10a**」

～ 収量重視の米づくりは、食味低下につながる ～

## 土づくり

- 圃場から持ち出したものは、極力水田へ還す
- 堆肥は、地域の畜産農家と連携し生産する



## 深水管理

- すべての水田で活着後、出穂期まで実施
- 「除草」「茎を太くする」「穂を大きくする」  
「倒伏防止」の効果をねらう



# 経営の合理化への工夫

特別栽培に取り組むため、  
湛水直播栽培を選択

## 1) 省力化の工夫

### 慣行栽培では・・・

- ・播種量 120g/箱
- ・植え付け本数  
2～3本
- ・株間 17～18cm
- ・作期分散

### 新技術による省力化

平成19年 湛水直播栽培技術の導入

平成26年 **60 ha** のうち、湛水直播は**5.0 ha**  
疎植移植は**30 ha**

## 2) 経営の多角化

- ・経営の複合化(麦・大豆)
- ・冬期の暗きょ工事請負

建築土木工事の  
技術習得



# 農業機械化技術の未来へ期待すること

## 1) スーパー圃場の構築



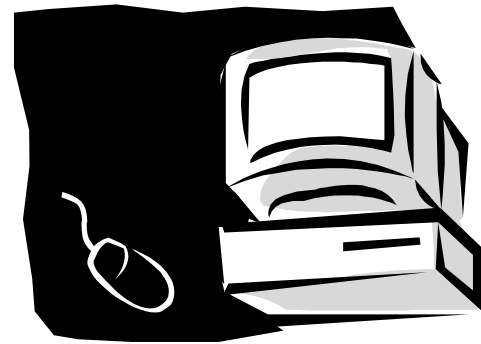


## 2) ロボットによる田んぼの管理

ex. アイガモロボット



### 3) ITによる経営



そして...

国産米を世界へ...







ご清聴ありがとうございました